

ウールマーク品質基準

品質基準 P-1: 2016

シープスキン製品

製品

ウールマークロゴは、以下のシープスキンに適用される。

- アパレル製品（裏地、履物、装飾品を含む）
- 敷用寝具（幼児用、医療・看護用を含む）
- 業務用シートカバー（自動車シート用カバーを含む）
- ラグ

製品の設計用途（病院や家庭での使用など）にかかわらず、ザ・ウールマーク・カンパニーおよびウールマークロゴは、製品の使用に関連する医学的な利点を表示または認定するものではない。

ウールマークブレンドおよびウールブレンドロゴは、シープスキン製品には適用されない。

基本品質基準

特性	試験方法	合格基準
フリースと羊皮の質	160	製品は、羊皮革でなければならない。
熱収縮温度 (°C：以上)	157	幼児用、医療・看護用製品：95 その他すべての製品：75
皮革中の油脂分 (DCM) (%：以下)	158	アパレル製品（履物用装飾品を除く）および敷用寝具（まくらカバーを含む）：10 床敷物、シートカバー、クッションカバー、履物用装飾品：15
水性抽出物 (%：以下) アパレル製品のみ	159	5
フリースの耐光堅牢度（級：以上）	133	染色した床敷物、シートカバー、クッションカバーのみ 標準濃度の1/3より暗い色：5 標準濃度の1/3より明るい色、または同じ色：4
フリースの耐光堅牢度（級：以上）	133	染色したアパレル製品のみ 標準濃度の1/12より暗い色：4 標準濃度の1/12より明るい色、または同じ色：3
摩擦堅牢度：乾・湿 フリースおよび羊皮 (級：以上)	165	染色製品のみ 汚染：3

追加品質基準

a. 「シャンプー」または「ドライクリーニング」の取扱表示ラベルの付いた床敷物製品

特性	試験方法	合格基準
フリースの水堅牢度（級：以上）	6	変色：3 羊毛汚染：3 綿汚染：3

b. 「ウォッシュャブル」取扱表示のラベルの付いた製品

特性	試験方法	合格基準
フリースの洗濯堅牢度 (級：以上)	250	染色製品のみ 変色：4 羊毛汚染：4
皮革の洗濯堅牢度（級：以上）	164	染色製品のみ 変色：3 羊毛汚染：3-4

推奨品質基準：幼児、自動車シートカバー、敷用寝具、医療・看護製品

特性	試験方法	要件			
		医療・看護製品、医療機関および家庭用寝具	マットレス上掛け	幼児用	自動車シートカバー
摩擦堅牢度：乾・湿、フリースおよび羊皮（級：以上） 染色製品のみ	165	汚染：3-4			
すすぎ	-	以下の注5を参照			
繊維直径（ μm ：以下） （以下の注5および6を参照）	24	26-34		≤ 30	-
パイル厚さ（mm） （以下の注5および6を参照）	279	25-35	15-35	15-25	≥ 15

注：

1. 製品の設計用途（病院や家庭での使用など）にかかわらず、ザ・ウールマーク・カンパニーおよびウールマークロゴは、製品の使用に関連する医学的な利点を表示または認定するものではない。
2. **ウールマーク TWC-TM158 羊皮中のジクロロメタン水溶性物質**：この試験では、羊皮中の脂肪分の量を測定する。必ずしもすべての脂肪分および類似の物質を羊皮から有機溶剤によって抽出できるとは限らず、一部が溶け出し、一部が皮革に付着する。溶剤は、脂肪分以外（硫黄や含浸剤など）も溶解する。柔軟性を維持するには羊皮に一定量の脂肪分が必要だが、消費者のマイナスの反応を避けるには脂肪分の量を一定レベル未満に抑える必要があることが分かった。DCM 抽出分のレベルは 10%未満でなければならない。ただし履物用の羊皮装飾品に限り、以下 15%まで許容する。
3. **ウールマーク TWC-TM159 羊皮中の水溶性物質**：羊皮中の水溶性物質が多すぎると、羊皮が水性液体で湿った場合に「製塩」につながる可能性がある。これを避けるため、羊皮中の水溶性物質の量は 5%未満でなければならない。
4. **ウールマーク TWC-TM159 耐光堅牢度**：オーストラリアおよび南アフリカで販売される製品では、標準濃度の 1/3 より暗い色については 5 級、標準濃度の 1/3~1/12 の色については 4 級が要求される。

5. **すすぎ**

5.1 **授乳パッド**

羊皮授乳パッドは、繰り返しの洗濯に耐えなければならず、場合によっては消毒する必要がある。したがって、取扱注意に必要に応じて以下の助言を盛り込むことを推奨する。

「羊皮は、不安定になる温度を超えない温度で洗浄および乾燥してください。（羊皮は消毒が必要なこともあります。）適切な殺菌剤を使用して、60°C で洗浄してください。タンブル乾燥または吊り干しは、60°C を超えない温度で行ってください。目の粗い金属ぐしで羊毛をすいてください。」

5.2 **アパレル**

羊皮衣類は通常、ドライクリーニングを想定している。満足できる結果を得るには、専門業者でドライクリーニングを行う。衣類の取扱注意は以下のように記載する。

「専門業者でドライクリーニングを行ってください。追加の水を充填しないシステムを使ってください。コイン式洗濯機で洗濯しないでください。」

6. **幼児用および医療・看護用製品の平均繊維直径およびパイル厚さ**：これらのパラメータは、幼児用を含め、医療・看護用製品向けに推奨される。

羊皮授乳パッドは、定期的な洗濯に耐えなければならず、場合によっては消毒する必要がある。製品の取扱表示には、必要に応じて、以下の助言を記載する必要がある。

「羊皮は、不安定になる温度を超えない温度で洗浄および乾燥してください。（羊皮は消毒が必要なこともあります。）適切な殺菌剤を使用して、**60°C** で洗浄してください。タンブル乾燥または吊り干しは、**60°C** を超えない温度で行ってください。目の粗い金属ぐしで羊毛をすいてください。」

7. **寝具の平均繊維直径およびパイル厚さ**：パイル長さ、パイル高さ、羊毛タイプは、寝具に使用する羊皮の性能と快適性を決定付ける重要な要素であることが分かっている。

各種の最終製品に適した羊皮を選ぶときには、「推奨」表の品質基準を適用することが推奨される。パイル厚さが **35 mm** 以上の場合は、最初は外観が美しくても、使用中に平らになってもつれる傾向があり、使用者の不満につながる可能性がある。